

別記様式第1号（第4条関係）

木津川市行財政改革推進委員会 会議経過要旨

会議名	第16回 木津川市行財政改革推進委員会			
日時	平成24年5月31日（木） 午後1時30分～午後3時35分	場所	市役所 4-3会議室 (公開)	
出席者	委員 〔出席：■ 欠席：□〕	<input checked="" type="checkbox"/> 澤井委員（会長） <input type="checkbox"/> 竹田委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山岡委員 <input checked="" type="checkbox"/> 山口委員 <input checked="" type="checkbox"/> 芳野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 中谷委員 <input checked="" type="checkbox"/> 長野委員 <input checked="" type="checkbox"/> 福田委員		
	その他出席者	(傍聴者) 一般：4名 報道：2名		
	庶務	(事務局) 竹谷総務部長 松尾室長 中谷主任 (説明者) 中島財政課長		
議題	1. 開会 2. 市長あいさつ 3. 委員紹介 4. 会長・副会長選出 5. 会長あいさつ 6. 質問 7. 議事 (1) 委員会の運営について (2) 行財政改革行動計画の進捗等について ①木津川市行財政改革行動計画進捗状況について [行政説明] ②木津川市事業仕分け結果に対する改善状況について [行政説明] ③行政説明質疑応答 (3) 第2次行財政改革大綱・推進計画の策定について ①第2次行財政改革大綱・推進計画策定方針について [行政説明] ②木津川市の人口動態・行政組織について [行政説明] ③第1次木津川市総合計画について [行政説明] ④木津川市の財政状況について [行政説明] ⑤行政説明質疑応答 ⑥第2次行財政改革大綱策定への意見について（素案作成に向けて） (4) 本年度の委員会スケジュールについて 8. その他 9. 閉会			
会議結果要旨	<ul style="list-style-type: none"> ・会長に「澤井 勝」委員を選出した。 ・自主的な勉強会を平成24年6月29日（金）に開催することとした。 ・次回委員会の日程については、別途調整することとした。 			

会議経過要旨	1. 開　　会
	2. 市長あいさつ
	3. 委員紹介 委員及び事務局（庶務）担当職員・説明者から自己紹介が行われた。 芳野委員から人事異動のため退任される旨の申出及び委員会への謝辞があった。
	4. 会長・副会長選出 木津川市行財政改革推進委員会条例第5条の規定により、会長に澤井委員を選出した。 副会長について、新川委員を推薦する意見があったが、ご欠席のため、後日、事務局からご本人の意向を確認し、承諾いただけた場合に副会長に選出することとした。また、承諾いただけなかった場合は、会長と事務局で協議の上、次回の委員会に諮ることとした。
	5. 会長あいさつ 澤井会長から就任のあいさつが行われた。
	6. 諒　　問 市長から澤井会長に諒問が行われた。 (市長、芳野委員退席) ◎会議記録署名員の指名 会長から会議記録署名委員に「山岡委員」が指名された。
	7. 議　　事 (1) 委員会の運営について 【資料14】 事務局から、委員会運営内規について、加茂・山城支所における会議資料の公開場所を、4月1日付けの機構改革に伴い地域総務課から市民福祉課に改めることについての説明を受けた。 <行政説明質疑応答> ○支所市民福祉課の業務はどのようなものか。他の業務範囲と今回の案件は整合するのか。 ⇒支所市民福祉課では、主に市民向けの証明発行業務や福祉サービスの申請窓口業務を行っていますが、今回、地域総務課が廃止されるため業務範囲を一部拡充することとなりました。

◎：議事進行
○：質問
●：意見・提案
⇒：説明・回答

- (2) 行財政改革行動計画の進捗等について
①木津川市行財政改革行動計画進捗状況について [行政説明]
【資料2】
事務局から、平成23年度における木津川市行財政改革行動計画（アクションプラン）の進捗について説明を受けた。
- ②木津川市事業仕分け結果に対する改善状況について [行政説明]
【資料3】
事務局から、平成23年度に実施した8事業の事業仕分け結果に対する各事業の改善状況について説明を受けた。
- ③行政説明質疑応答
- これまでの行財政改革により削減された経費の使途は。
⇒時代に適合した新たなサービス等に用いられている経費もあります。また、合併後の決算は黒字であり、一定額は基金に積み立てています。
- 事業仕分けにある、「道路照明灯整備事業」については、LED化以外に太陽光発電の導入も考えていく必要があるのではないか。
- 行動計画の評価基準は何か。
⇒現在の評価は、基本的に各所属部署での自己評価となっています。
- 行政サービスについては、コストが安いから満足するという観点・逆に高くても質の高いサービスであるから満足するという観点があり、数字での評価が難しい点があることは理解しているが、予算をつけている以上、最終的に一つ一つの事業をチェックして評価することが、本来の行政改革の柱であると考える。
また、評価については、達成・未達成だけでなく、そもそも計画が適正なものであったかというところから考えていく必要がある。
- 木津川市の国保については、料金方式ではなく税方式をとっているが、その場合でも基金を設けることは可能なのか。
⇒事務局ではすぐにお答えすることが出来ません。
- 行動計画の「(2) 行政体制の再構築」のうち、「人材育成方針の策定」のC評価は、他の人事関係項目の評価と連動するべきではないか。職員は財産であり育成していかねばならないが、基本となる「人材育成方針」がない中での「人事評価」はどうかと考える。
⇒(行動計画の評価基準全体について) 行動計画については、どうしても一律の尺度での評価が難しい部分があり、評価は一つの目安として見ていただきたいものです。また、各事業については、別途、成果指標に基づく事業評価を行っているところです。
- (3) 第2次行財政改革大綱・推進計画の策定について
①第2次行財政改革大綱・推進計画策定方針について [行政説明]

◎：議事進行
○：質問
●：意見・提案
⇒：説明・回答

【資料4】【資料5】【資料6】【資料12】
事務局から、第2次行財政改革大綱・推進計画の策定方針について以下の説明を受けた。
⇒第2次行財政改革大綱は、木津川市が平成25～29年度の5年間、不断の行財政改革に取り組むための総合的な指針であり、策定にあたって本委員会に諮問させていただくものです。策定にあたる市の基本原則は次の3点です。

- ・現行の木津川市行財政改革大綱・推進計画を継承し、不断の行財政改革を継続
- ・総合計画に掲げるまちの将来像に向け、効率的で市民満足度の高い行財政を構築
- ・今後の交付税減額に対応できる、子や孫の未来につなぐ自立可能な行財政を構築

②木津川市の人口動態・行政組織について [行政説明]

【資料7】【資料8】【資料16】

事務局から、木津川市の人口・世帯数の推移（職員数の推移）、市役所の組織・配置職員数・業務分担についての説明を受けた。

③第1次木津川市総合計画について [行政説明]

【資料9】

事務局から、第1次木津川市総合計画（計画期間：平成21～30年度）についての説明を受けた。

④木津川市の財政状況について [行政説明]

【資料17】

説明者から、木津川市の財政状況（府内市町村との比較）についての説明を受けた。

⑤行政説明質疑応答

○本年度の委員会の任務とプロセスについて確認したい。

⇒本年度に本委員会で検討をお願いしたいのは、第2次木津川市行財政改革大綱・推進計画の策定についてです。議事（4）のスケジュールと併せて、ここでご説明させていただきます。

（4）本年度の委員会スケジュールについて

【資料12】

事務局から、本年度の委員会スケジュール（案）について、以下の説明を受けた。

⇒年度内に4回の委員会を予定しています。まず、委員の皆様からは、第2次行財政改革大綱の策定に向けての考え方・重要事項についての

<p>◎：議事進行 ○：質問 ●：意見・提案 ⇒：説明・回答</p>	<p>ご意見をいただきたいものです。併せて、市役所内でも、今後各部局に照会を行って現行の大綱等で時点修正が必要な事項の洗い出しを行う予定です。こうしたご意見・照会結果を踏まえまして、事務局で現行の大綱をベースとして、第17回委員会（8～9月予定）でご審議をいただく素案のたたき台を作成いたします。</p> <p>その後、素案についての委員会の審議結果を受けまして、事務局で中間案のたたき台を作成し、これを第18回委員会（10～11月予定）でご審議いただき、とりまとまりました中間案で11～12月にパブリックコメントを行う予定です。</p> <p>最終的に、このパブリックコメント結果を踏まえまして第19回委員会（1月予定）でご審議をいただき、1～2月に会長から市長へご答申をいただくスケジュールを考えております。</p> <p>○昨年度実施された事業仕分けは完結したのか。 ⇒平成24年度については、第2次大綱等の策定があるため事業仕分けの実施は考えておりませんが、平成25年度以降は再度仕分けを実施していきたいと考えています。</p> <p>◎本日の委員会は説明項目も多く、ほぼ会議終了予定時間となった。本日の説明を踏まえて、素案の作成までに各委員が意見を言う機会が必要と考える。</p> <p>●委員報酬等とは関係なく、素案作成までに委員から意見を出す機会を作っていただきたい。 ⇒過去に、自主参加の勉強会という形で開催された事例があります。 ●（会長に一任との声） ◎それでは6月中に自主参加の勉強会という形で集まりを持ちたい。また、今後の追加資料として、職員の年齢構成、臨時職員の数等がわかるものが欲しい（他自治体でも課題となっている事項である。）。</p>
	<p>8. その他</p> <p>◎6月29日金曜日午後1時30分から自主参加の勉強会を開催する。 ⇒自主参加の勉強会の会場については、事務局で調整し、別途通知を送らせていただきます。また、次回委員会の日程につきましても別途通知を送らせていただきます。</p> <p>9. 閉会</p>
その他特記事項	特になし。